

平成 30 年 5 月 1 日

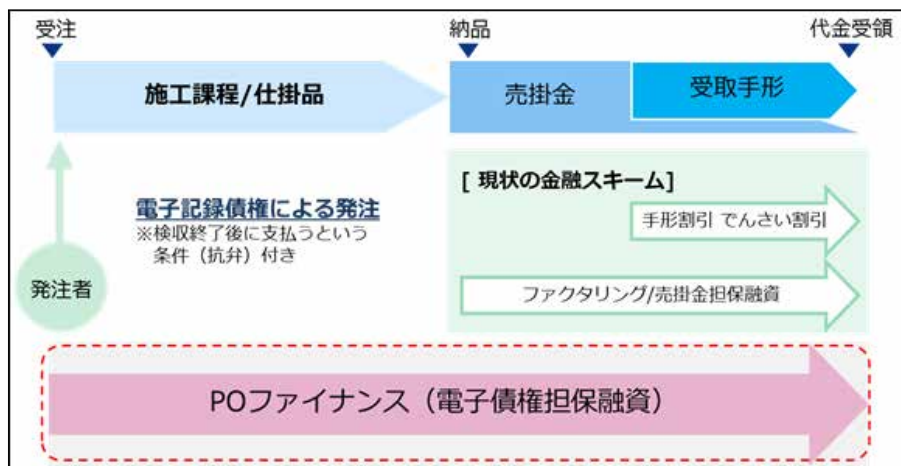
Tranzax 社と業務提携契約を締結**世界初となる受注債権担保融資（PO ファイナンス）の取扱いを開始****城南信用金庫**

城南信用金庫（本店：東京都品川区西五反田、理事長：渡辺泰志）は、Tranzax 株式会社（東京都港区虎ノ門、代表取締役社長：小倉隆志）と業務提携契約を締結致しました。

これまで当金庫では、原則として、商品の供給や役務の提供等を終え、金額や回収日が決まっている売掛債権に限定した「動産担保融資（ABL〈アセットベースドレンディング〉）」を取扱ってきましたが、本契約の締結により、下記の通り、電子記録債権を活用し、受注段階での債権を引当てとして融資を可能とする「受注債権担保融資（PO ファイナンス）」の取扱いを開始するものです。今後も、当金庫では、地域の中小企業者のため、資金調達手段の拡充、資金繰りの円滑化を図ってまいります。

記**1. 「受注債権担保融資（PO ファイナンス）」の概要**

- 名 称：受注債権担保融資（PO ファイナンス※） ※Purchase Order（受注） Finance
- 概 略：電子債権記録機関である Tranzax 電子債権㈱による電子記録債権を活用することで受注段階での債権を引当てとすることができる世界初の仕組み



○取扱開始日：平成 30 年 7 月 2 日（月）

以上